

《協議テーマ》

▼市街地が果たしてきた役割（事務局から説明・確認）

▼市街地が今後果たすべき役割

▼市街地が有する施設と機能

▼市街地に今後必要な機能

《キーワード》

※（ ）は前回の資料番号

- ◎伊賀市の財政状況（6-1-1）
 - ・市債と基金残高
 - ・合併特例債の借り入れ期限
 - ・合併による人件、物件、維持補修費の増
- ◎公共施設白書（6-1-2）
 - ・老朽施設の更新ピークの到来
 - ・ピーク時の更新費不足
 - ・公共施設マネジメントの必要性
- ◎公共施設最適化方針（6-1-3）
 - ・3 Rの推進…Reduce、Remix、Run
（総量縮減・機能複合化・運営適正化）
 - ・総量目標の設定
- ◎公共施設最適化計画（6-1-4）
 - ・次世代に誇れる持続可能な公共サービス
 - ・H4 2までに総量3 4%減
 - ・H5 7までに総量4 3%減
- ◎第2次総合計画（6-2）
 - ・市民が主体となり地域の個性が生きた自治の形成
 - ・持続可能な共生地域の形成
 - ・交流と連携による創造的な地域の形成
- ◎まち・ひと・しごと（6-3）
 - ・均衡の取れた人口構造の維持
 - ・来たい、住みたい、住み続けたい伊賀
 - ・H3 2に人口9万人を維持
- ◎中心市街地活性化（6-4）
 - ・コンパクトシティとネットワーク化
 - ・賑わいづくり、財源確保の手法
 - ・第2期計画の認定
- ◎歴史まちづくり（6-5）
 - ・建造物、祭礼行事等の保存、継承
 - ・重点区域としての城下町（＝市街地）
 - ・今年度中の認定を目指す
- ◎新図書館基本計画答申（6-6）
 - ・収蔵、駐車場、サービス機能の不足
 - ・求められる新しい図書館
 - ・図書館が創出する賑わい（他市事例）
- ◎新芭蕉翁記念館答申（6-7）
 - ・施設老朽化、収集・展示機能不足
 - ・現在地（国史跡）での再建は不可
 - ・新たにひと・地域づくりの拠点として整備
- ◎感動のまち伊賀上野（6-8）
 - ・閑散とした現状を改善するための賑わい
 - ・お城テラス（南庁舎）を中心とした回遊
 - ・既存公共施設（跡地）の有効活用
- ◎議会決議（6-9）
 - ・南庁舎は取り壊し、駐車スペースを確保
 - ・賑わい創出のためのコンパクトな建物新築
 - ・議会、市民、団体の意見を尊重した議論
- ◎美術館建設を求める請願書
 - ・美術文化の質の向上
 - ・市街地の文化関連施設の近傍に設置
 - ・伊賀の風土と歴史にあった専門施設
- ◎南庁舎利活用イメージ（案）
 - ・多機能な複合施設として現庁舎を利活用